

# 癌性胸水（腹水）に含まれる細胞の表現型解析に関する研究

## 1. 研究の対象

国立がん研究センターにおいて実施される「がん組織を基にした in vitro, in vivo, ex vivo およびオルガノイドなど高次評価モデルの樹立および薬物動態解析系の構築に関する研究（研究課題番号：2023-007）」について同意し、登録された乳がん罹患した患者さんのうち、研究の情報・試料の二次利用について拒否の申し出がない方を対象とします。

## 2. 研究目的・方法

本研究の目的は、がん患者さんから採取した腫瘍細胞を含む体腔液や生検時または手術時の余剰検体を用いて、がん細胞やがんを構成する周辺細胞を培養・増殖し評価モデル系を作成し、DNA や RNA の遺伝子解析、免疫学的評価、薬剤への反応性実験、タンパク質や代謝物などの測定を行うことで、どのような特徴を持った細胞ががんを構成するかを明らかにすることです。

方法としては、国立がん研究センターにおいて実施される「研究課題番号：2023-007」において収集したがん細胞やがんを構成する周辺細胞などの試料や、診療録から得られた情報を本研究に二次利用し、国立がん研究センターと武田薬品工業株式会社の共同研究のもと行います。収集した試料の一部は、国立がん研究センター外の武田薬品工業株式会社湘南研究所（神奈川県藤沢市村岡東 2-26）にて研究に用いられます。

研究期間は研究許可日から 2027 年 3 月 31 日までとします。

本研究は武田薬品工業株式会社が資金を提供して行われます。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究に用いる情報の種類：国立がん研究センターの「研究課題番号：2023-007」において収集された性別、年齢、病理学的所見、治療歴等の情報を利用します。提供者の個人情報は、国立がん研究センターにおいて適切に管理され、武田薬品工業株式会社研究所には匿名化された情報のみが共有され個人情報は提供されません。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表を行いません。

この研究に用いる試料の種類：国立がん研究センターの「研究課題番号：2023-007」において

収集した腫瘍細胞を含む体腔液や生検時または手術時の余剰検体

#### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究に関する解析業務の一部は、下記解析機関に委託します。委託先には試料のみを提供し、情報は提供しません。

- 株式会社 LSI メディエンス（東京都板橋区志村 3-30-1）
- 株式会社聖路加エスアールエル先端医療研究センター（東京都中央区築地三丁目 6 番 2 号）
- イムノジェネテクス株式会社（千葉県野田市山崎 2669）

#### 5. 研究組織・研究責任者

**研究代表者：**本研究全般に関わる責任者であり、研究の総括を行う

大橋 紹宏

国立研究開発法人国立がん研究センター

先端医療開発センター 共同研究開発分野 ユニット長

**国立がん研究センター研究事務局：**

大橋 紹宏

国立研究開発法人国立がん研究センター

先端医療開発センター 共同研究開発分野 ユニット長

中島 裕理

国立研究開発法人国立がん研究センター 東病院

総合内科・腫瘍内科・先端医療科 医員

**武田薬品工業株式会社研究責任者：**

林 哲

武田薬品工業株式会社

リサーチ グローバルアドバンスプラットフォーム リサーチマネージャー

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **武田薬品工業株式会社研究責任者：**

林 哲

武田薬品工業株式会社

リサーチ グローバルアドバンスプラットフォーム リサーチマネージャー

メールアドレス：[akira.hayashi@takeda.com](mailto:akira.hayashi@takeda.com)